

32 話のすじをつかむ ②

考え方

- 1 直後の一文に注目しましょう。「食べものをもとめ、てきからのがれ、おすならめす、めすならおすをさがして」の部分に、前に進む三つの理由が示されています。
- 2 人間以外の動物は「どれもどう体をよこにして前へすすみます」とあります。これに対して、人間は「どう体をたてにして前しんする」のです。こうしたところを、筆者は「かわりもの」だと言っているのです。
- 3 あとに続く四つの段落の内容をとらえましょう。問題文の中に「そのうちに」「やがて」という順序を表す言葉がありますが、こうした言葉に注目して読むようにすると、話の筋がとらえやすくなります。サルの仲間が人間の祖先へと進化していった過程を順を追ってとらえるようにしましょう。

34 お話をしようかいじょう

考え方

- 2 お話のあらすじが正しく紹介できているかどうかを確認してください。また、お話を読んだ感想が自分なりに書けているかどうかを確認してください。
- 答え
- 1 【例】 ジンのおばあちゃんがかぜをひいてしまう。ジンは、自分がかぜをひいたときにおばあちゃんがかぜをひいたことを思い出して、りんごのジュースを作っておばあちゃんにもって行って、そばで絵本を読んであげた。
 - 2 【例】 かぜをひいたおばあちゃんをしんばいしているジンのやさしいところが心にのこった。
 - 3 【例】 自分もおばあちゃんにやさしくしたいと思った。ある日、ジンのおばあちゃんがかぜをひいてしまいました。おばあちゃんのことをしんばいしたジンは、りんごのジュースを作っておばあちゃんにもって行って、そばで絵本を読んであげました。
- ぼくはジンのやさしさにかんどうしました。ぼくにもいっしょにすんでいるおばあちゃんがいるので、ぼくも、ジンのようにおばあちゃんにやさしくしたいと思いました。

35 インタビューを読む

考え方

- 1 インタビューをする側とされる側がそれぞれどのようなことを言っているかに注意して読むようにしましょう。あきらさんの「しょうぼうしょでどんなしごとをしているのですか」という質問に対する木村さんの答えに注目します。
- 2 消防署には大きく分けて二つの仕事があり、一つは火事を消す仕事（消火活動）で、もう一つはけが人や病人を救助する仕事（救急活動）であると木村さんは言っています。
- 3 あきらさんの「しごとをしていて、たいへんなことはどんなことですか」という質問に対して、木村さんは「きけんが多いことが、やはりたいへんですね」と答えています。
- 4 木村さんは自分が火事にまきこまれて消防署の人に助けられた経験から今の仕事を志したので、イはまちがいです。

36 話し合いを読む

考え方

- 1 話し合いを読む際には、何について話し合いをしているのか、議題をつかむようにしましょう。この文章は、遠足についての話し合いをまとめたものです。最初の先生の説明から、遠足の日時や集合時間、集合場所、目的地をとらえます。
- 2 誰が、どのような意見を出しているのかを正確に読み取るようにしましょう。
- 3 「先生やはん長さんの話をよく聞いて、行どうしなければいけない」というのがあやなさんの意見です。
- 4 そうたさんが出したのは、「しゅう合時間をきちんとまもらないといけない」という意見なので、ウはまちがいです。

- 答え
- 1 火しをけすしごと。
 - 2 びょう気をした人や、けがをした人のところにきゆうきゆう車でかけつけて、たすけるしごと。
 - 3 きけんが多いこと。
 - 4 ア〇 イ× ウ〇

- 答え
- 1 来週の月曜日
 - 2 朝八時
 - 3 校てい
 - 4 子ども公園
- 1 しょうたさん・みさきさん
 - 2 先生やはん長さんの話をよく聞いて、行どうすること。
 - 3 ア〇 イ〇 ウ×
 - 4 ア〇 イ〇 ウ×